

事業概況

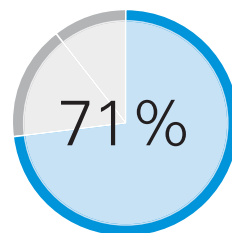
情報機器事業



主要製品

- 複合機
- レーザープリンター
- デジタル印刷システム
- デジタル色校正システム

売上高構成比



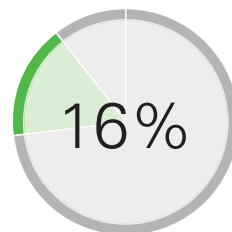
オプト事業



主要製品

- 液晶偏光板用TACフィルム
- HDD用ガラス基板
- 光ディスク用ピックアップレンズ
- マイクロカメラモジュール

売上高構成比



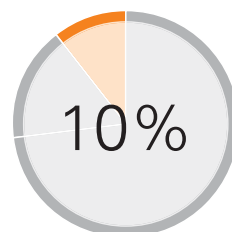
ヘルスケア事業

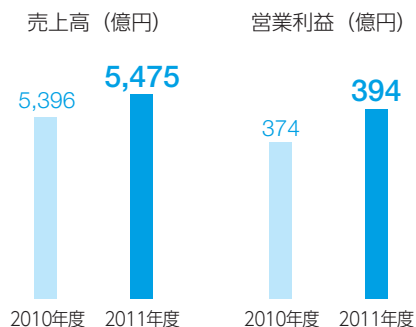


主要製品

- デジタルX線画像診断システム
- デジタルマンモグラフィー
- 医療用画像診断ワークステーション
- 医療用画像ファイリングシステム

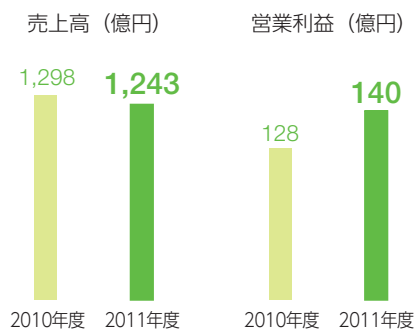
売上高構成比





オフィス分野： 複合機は、採算性の高い「bizhub (ビズハブ)」シリーズのカラー機がすべての地域で販売好調となった結果、全体でも販売台数は前年同期を上回りました。

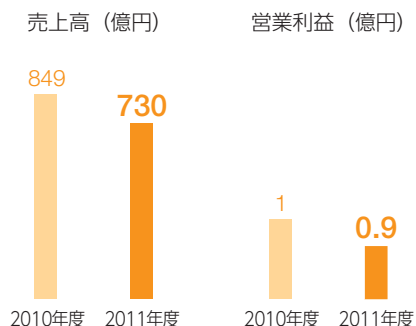
プロダクションプリント分野： 新シリーズ「bizhub (ビズハブ) PRESS」のカラー機が牽引し、主力市場である欧米に加え、新興国でも販売台数は前年同期を大きく上回りました。



ディスプレイ材料分野： 競争力の高い、視野角拡大用VA-TACフィルムを中心に、販売数量は前年同期を上回りました。

メモリー分野： 光ディスク用ピックアップレンズの販売数量は、ブルーレイディスク用、DVD用とも前年同期を下回りましたが、HDD用ガラス基板は後半より受注が回復し、前年並みの販売数量となりました。

画像入出力コンポーネント分野： カメラ付き携帯電話用レンズ及びデジタルカメラ向けレンズユニットともに、販売数量は前年同期を上回りました。



フィルム販売は、中国などの新興国で拡販に努めましたが、先進国でのフィルムレス化の進行により、販売数量は伸び悩みました。一方、医療用デジタル入力機器は、カセット型DR「AeroDR (エアロディーアール)」及び卓上型CR「REGIUS Σ (レジウス シグマ)」の新製品投入による効果で、販売台数は前年同期を上回りました。